



取締役 経理部長
本田 裕佳子

【事業計画名】

これから訪れるセルフメディケーション時代に向けた調剤薬局のシステム構築と医療体制崩壊を防ぐシステム構築

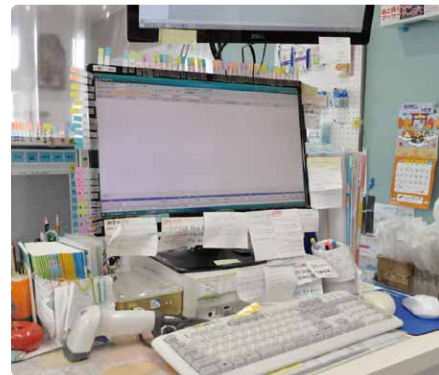
背景・目的

会計で患者さんを待たせてしまう状況をなんとかしたい

当社は小児科、耳鼻科、整形外科のクリニックに隣接した調剤薬局を2店舗展開しており、乳幼児や高齢者が安心して生活できるように、薬のことだけでなく、当該疾患に関わる生活上の指導にも力を入れています。

これまで、患者さんの待ち時間短縮のために自動分包機など機器の導入

を積極的に行ってきましたが、従来のレセプトコンピュータはデータをシステムに連動できない仕様であったことから待ち時間の短縮が難しく、厚生労働省が推進するセルフメディケーション*の推進もままならないのが現状でした。



※セルフメディケーションとは、専門家の適切なアドバイスのもと、身体の軽微な不調や症状を生活者自ら手当てすることを指す。

実施内容

データ管理できるシステムの導入で効率化を図る

レセプトコンピュータ、自動会計システムを導入し、患者さんの待ち時間を短縮することで、患者さんが薬剤師と対面して病気・薬への不安を取り除く時間の確保ができる会計システムの構築を目指しました。

レセプトコンピュータは、病院から

発行された処方箋を入力し請求業務を行うもので、患者さんの情報を管理でき、すでに導入済みの機器と連動することでデータの一元管理をすることができます。

また、自動会計システムとも連動させて、レセプトコンピュータで確定し

た請求情報を取り込むことで会計業務までをスムーズに行うことができ、患者さん自身が会計することができます。



事業成果

薬剤師は患者さんの対応に専念、会計もスムーズに

レセプトコンピュータおよび自動会計システムを導入し、それぞれの機器を連動させたことで、患者さんのデータを一元管理するシステムが構築できました。最も変化したのは事務員の負担軽減です。これまでは紙に印刷された処方箋をレセプトコンピュータに入力する作業、紙に印刷する作業、その紙に書かれた金額をまたレジで手打ちする作業と必要でしたが、導入後

はレセプトコンピュータからすべてのデータが引き出せるようになり、会計までの手続きが、一気に時間短縮されました。自動会計システムによってお釣りの渡し間違いもなくなり、レジ閉めの作業時間も短縮され業務も効率化できています。



ココがポイント

新人でもレジに立てる！

従来だと会計や保険について理解している社員でないとレジを担当することができなかったのが、レセプトコンピュータと自動会計システムを導入したことで、**経験がない新人でも初日からレジに立ち、スムーズにお金のやりとりができるようになりました。**

システム導入で
効率アップ



今後の展望

セルフメディケーションできる設備を整え、地域のヘルスケア拠点へ

従来の懸念事項だった待ち時間の短縮は、レセプトコンピュータと自動会計システムによるセルフレジの導入によって実現できています。自動会計システムの導入については試行錯誤を続けた結果、患者さんに高齢者が多いこともあり、現在はレジの担当者がついて対応していますが、八戸市の薬局のなかで導入している薬局は少なく、差別化ができています。

また、薬剤師は薬剤処方の業務に専念し、それぞれが役割を全うする業務分担の体制が出来ました。薬剤師は処方箋による投薬だけではなく、検査結果によるアドバイスもスムーズにできるようになり、会計で待つ時間を投薬指導の時間に充てることが可能になりました。患者さんと向き合う時間が増え、病気や薬に対する不安を取り除く時間の確保ができています。

今後は、八戸市の健康サポート薬局として、セルフメディケーションの実現を考えています。薬局内で検体検査キット（血液を採取し、血糖値やヘモグロビン値を検査）を導入するなど、病院へ行かなくても薬局で気軽に検査できる体制を整え、ヘルスケア拠点として地域の医療・健康を守っていきます。

有限会社
本田医薬情報センター

代表取締役 本田 尚徳 ◎創業 平成11年3月 ◎資本金 500万円 ◎従業員 13名

〒031-0004 八戸市南類家2-17-23 類家メディカル調剤薬局
TEL.0178-20-9911 FAX.0178-20-9910
URL:https://www.hondamic.co.jp/

